


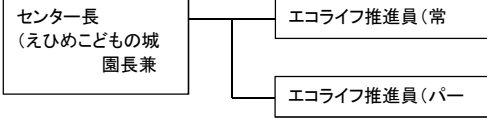
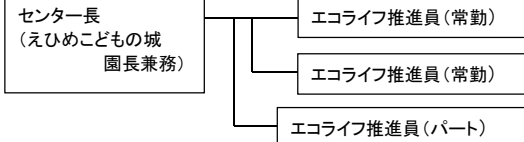
令和4年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和5年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県体験型環境学習センター (平成15年4月22日)	所在地 愛媛県松山市西野町乙103番地1 えひめこどもの城内	電話番号 089-963-4811	ホームページ http://www.i-ecohouse.jp/	
県所管課	県民環境部環境局環境・ゼロカーボン推進課	指定管理者の名称	伊予鉄総合企画株式会社		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金制	あり	○	なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の環境意識の向上を図るため、住宅等における地球温暖化対策技術の体験の場を提供するとともに、環境学習及び環境保全活動の支援を行う。	施設の外観 
施設内容	エコ活動支援室、親子エコライフ室、展示ホール、展望デッキ、事務室	
指定管理者が行う業務	①センターの事業の実施に関する業務 ②センターの利用の許可に関する業務 ③センターの施設の利用の促進に関する業務 ④センターの施設、付属設備等の維持管理に関する業務 ⑤その他知事が定める業務	
施設の管理体制	<p>【令和4年4月1日～令和4年8月25日】</p>  <p>【令和4年8月26日～令和5年3月31日】</p> 	

3 検証のための指標の推移

(1) 利用者数

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	12,634 人	13,247 人	8,174 人	7,436 人	12,003 人

(2) 収支状況

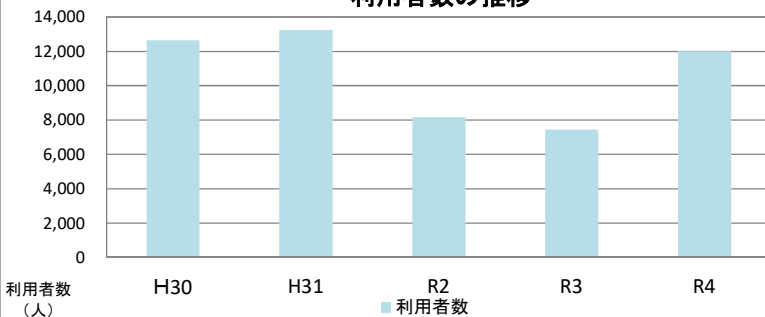
年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取 入 (A)	10,497 千円	10,505 千円	16,451 千円	11,281 千円	10,585 千円
委 託 料	10,074 千円	10,179 千円	10,179 千円	10,179 千円	10,179 千円
委託料(補正額)※	0 千円	0 千円	5,884 千円	0 千円	0 千円
利用料金収入	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
その他収入	423 千円	326 千円	388 千円	1,102 千円	406 千円
支 出 (B)	10,654 千円	10,674 千円	15,740 千円	10,772 千円	10,718 千円
事業費	469 千円	379 千円	507 千円	638 千円	594 千円
維持管理費	1,844 千円	1,874 千円	4,867 千円	1,841 千円	1,625 千円
人件費	7,289 千円	7,500 千円	6,801 千円	7,346 千円	7,418 千円
その他支出	1,052 千円	921 千円	3,565 千円	947 千円	1,081 千円
取 入 (A) - 支 出 (B)	▲ 157 千円	▲ 169 千円	711 千円	509 千円	▲ 133 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

利用者数の推移



4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○昨年度に引き続き、とべもりジップラインの利用者を対象にしたチラシを作成、配布し、来館を促した。</p> <p>○こどもの城の幼児親子対象プログラム実施時にミニチラシを配布してもらい、そのチラシの持参で、通年プログラムが1つ無料でできるようにした。</p> <p>○通年プログラムについては、こどもの城で発行している「1年生パス」などの無料体験パスを、令和4年度も引き続き利用できるようにし、こどもの城と一体でプログラムを楽しんでもらえるよう工夫した。</p> <p>○可能な限り、あいあい児童館内で「出張エコ・ハウス」を実施し、普段エコ・ハウスで実施しているプログラムの簡易バージョンを行い、施設の存在をアピールした。</p>	<p>○梅雨時や冬季で来館があまり見込めない場合でも、こどもの城のメイン施設を活用した出張事業(出張エコ・ハウス)を行うなど、積極的な集客活動を行っている。</p> <p>○日常生活の中で身近なものを題材としたプログラムを多数実施したり、より分かりやすい環境学習の提供を行っている。</p> <p>○新型コロナウイルスの流行がありながらも、上記をはじめ民間ならではの工夫を凝らした経営により、令和4年度の来館者数は前年度比161%であり、増加に転じている。</p>	A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○修繕が必要な箇所について最低でも月に一度は確認し、修繕の優先順位や計画を見直すようにした。常に最新の状況を把握することで、修繕の希望などもスムーズに出すことができた。</p> <p>○保守点検業務や清掃業務、警備業務などについてはこどもの城と一括契約により、経費削減を図り、より効率的な業務を行うことができた。</p>	<p>○職員による日常点検が行われており、異常等が確認された場合には速やかに業者へ連絡、改善を行える体制が整備されている。</p> <p>○消防設備等保守点検、警備、清掃作業に係る業務について、えひめこどもの城と一括で外部委託契約しており、維持管理費の増加抑制が図られている。</p>	B

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

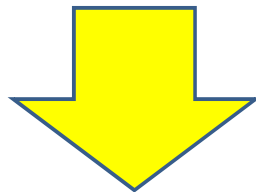
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○一般来館者を対象に来館時アンケートを実施し、不明点や要望等の把握に努めた。また、イベントごとに参加者アンケートを実施し、良かった点、困った点、どんなイベントをしてほしいか、何に興味があるか等の記入をお願いした。アンケートは回収後すぐ集約し、すぐに取り入れることができる内容のものは、企画にも取り入れることとした。</p> <p>○年間通して、クレームは1件もなかった。</p> <p>○来館者アンケートでは「遠い」「あることを知らなかった」など、イベントアンケートでは「わかりやすかった」「家でできないことで貴重な体験だった」などの意見が多かった。</p>	<p>○利用者アンケートを実施しているが、特に苦情等もなく、利便性・サービス向上に努めていると評価している。</p> <p>○イベント等の参加者の意見を次回イベント計画時にフィードバックすることで、活動内容の幅の拡大や季節に応じたテーマの設定など、県民の興味・関心の高い活動を実施できていると評価している。</p>	B

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○月1回ホームページの更新のほか、facebookやinstagramも利用し、イベント情報やセンターの日常的な話題、実施したイベントの様子などを発信した。</p>	<p>○センター独自の広報誌「月間エコ・タイム」によるイベント情報や昆虫等の紹介のほか、こどもの城発行のイベントガイドにセンターの告知スペースを設けるなど、工夫を凝らしながら施設の魅力発信に努めている。</p> <p>○こどもの城と連携し、SNSを積極的に活用して、各種イベント情報やセンター周辺の自然の様子を発信し、来館を促すような取組みを行っている。</p>	A

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>指定管理者制度の導入により、指定管理者である伊予鉄総合企画株式会社において、民間企業ならではのノウハウを活用して、えひめこどもの城と一体的な管理運営を行うことができています。近年はコロナ禍の影響により来館者数が伸び悩む状態が続いたが、そのような中においても、工夫を凝らした経営努力により来館者数は回復傾向にあることから、今後も引き続き運営に御尽力いただきたい。</p>